

第 2614 圖



はまむぎ
Elymus dahuricus Turcz.

主トシテ北地ノ海濱ニ多ク生ズル多年生草本ナリ。稈ハ直立、高サ60-90cmニ達シ、寧ロ粗大ニシテ通ジテ葉ヲ着ク。葉ハ互生シ、線狀披針形ニシテ漸尖シ長サ30cm内外、幅1cm内外アリ、小舌ハ極メテ短ク、葉鞘ニ毛ナシ。夏日、稈頂ニ長サ15cm内外ノ狭長ナル花穂ヲ立テ概形トむぎニ似テ綠色ヲ呈シ常ニ稍彎曲シ、花穂中軸ノ兩側ニ規則正シク小穂ヲ互生ス。小穂ハ芒ヲ除キテ長サ8-12mm許アリ、相層重シテ着ケル二三花ヨリ成ル。外穎内穎ハ略ボ同長ニシテ三乃至五脈ヲ有シ平滑或ハ稍糙澁ス。外稃ハ披針形ニシテ五脈ヲ具ヘ纖軟ニシテ長サ15mm許ノ長芒ヲ有ス、穎果ハ長橢圓形ニシテ前頭ニ毛ヲ有シ、一面凹ニシテ一面凸ナリ。和名濱麥ハ海邊ニ生ジテ其草狀穗狀むぎニ似タレバ云フ。

第 2615 圖



くさごう
一名 てんき・はまにんにく
Elymus mollis Trin.

(=E. arenarius Mq.,
E. arenarius L. var. mollis Koidz.)

主トシテ本州中部以北日本海并ニ太平洋海濱ノ砂場ニ生ズル粗大ナル多年生草本ニシテ往々廣ク群ヲ成シテ繁茂シ砂地ヲ覆フコトアリ。株ハ叢生シ、基部ハ廣鏡形ノ鱗片ニ擁セラレ、根莖ハ横走シ、粗強ナル鬚根ヲ發出ス。稈ハ直立シテ高く抽キ、高サ1-1.5m許アリ、質強剛ニシテ眞直、圓柱形、中空、上部ニ軟毛ヲ布ク。葉ハ細長ニシテ上部長ク尖リ内卷シテ刺狀様ヲ成シ、長サ30-60cm、幅1cm許アリ、強靱ニシテ質厚ク深綠色ヲ呈シテ縦脈多シ、葉鞘ハ膨大ニシテ毛ナク細縦理多シ。夏月、高聳セル稈頂ニ略圓柱形ヲ呈セル單一ノ長穗狀花序ヲ直立シ、長サ15-25cmニ及ビ初メ綠色後チ緑白色ト成リ、芒無クシテ中軸ニ毛アリ。小穂ハ雙生并ニ單生ニシテ五乃至七花ヨリ成ル。穎ハ草質ヲ呈シ廣披針形ヲ成シテ尖リ邊緣膜質ニシテ軟毛アリ。外稃ハ披針形ニシテ尖リ軟毛アリ、内稃ハ二脊稜アリテ上部ニ縁毛ヲ有ス。葉ヲ編物ニ利用ス。和名藪麥ハ其葉強靱ニシテ籐ノ如ケレバ云フ、てんきハ籠ノ意ヲ有スルあいぬ語、濱藪ハ海濱ニ生ジテ其葉にんにく葉ニ類スレバ云フ。

第 2616 圖



あづまがや
Hystrix longearistata Honda.
(=Asprella sibirica Trautv.
var. longearistata Hack.)

山地ニ自生スル多年生草本ナレドモ稍精品ニ屬シ草狀頗ルいはたけさうニ似タリ。株ハ多少叢生シ根莖ハ短クシテ横行ス。稈ハ直立シテ高サ60-100cm許、細長ニシテ濃綠色ヲ呈シ下部ノ暗紫色ヲ成シ、上部ニ密毛アリ、節ハ高シ。葉ハ線狀披針形ニシテ漸尖シ平面ニシテ上下反轉シ、下面ハ陽光ヲ受ケ深綠色ヲ呈シ且中脈稍隆起シ上面ハ地向テ淡綠色ヲ成ス、上面ニ軟毛アリ、長サ10-27cm許、幅10-24mm許アリ。小舌ハ半環狀ヲ成シテ極メテ短ク、葉鞘ハ長クシテ稈ヲ包ミ深綠色ニシテ脚部ノ者ハ其下部暗紫色ヲ呈ス。夏時、稈頂ニ單一ナル穗狀花穂ヲ成シテ直立或ハ多少一方ニ傾キ狭長ニシテ10-20cm長アリ、綠色ニシテ中軸ニ細毛アリ。小穂ハ花穂軸上ニ雙生并ニ單生シ一ニ花ヨリ成ル。穎ハ細小ニシテ針狀ヲ呈シ6-12mm長アリ、穎果熱スレバ稃ヲ伴フテ脱落シ獨リ此穎ハ軸上ニ殘レリ。外稃ハ披針形或ハ廣披針形ニシテ頂末ハ15-25mm長ノ芒ヲ有ス、内稃ハ外稃ト同長ニシテ披針形ヲ呈ス。三雄蕊アリ。穎果ハ披針形ニシテ壓區セラレ腹面ニ縦溝アリ、長サ9mm許アリ。和名ハ吾妻茅ノ意ニシテ初メ岩代國ノ吾妻山ニ採集セルヨリ此名アリ。

第 2617 圖



いはたけさう
Hystrix japonica Makino.
(=Asprella japonica Hack.;
H. Hackeli Honda.)

山中ノ草間等ニ生ズル多年生草本ニシテ多少叢生シ、根莖ハ短クシテ鬚根ヲ發出ス。稈ハ下部往々傾上シ上部ハ直立シ高サ60-80cm許アリ、細長ニシテ綠色ヲ呈シ單一ニシテ節稍高シ。葉ハ線狀披針形ニシテ漸尖シ邊緣ハ糙澁シ、葉片ハ上下反轉シ下面ハ向テ深綠色ヲ呈シ上面ハ地向テ淡綠色ナリ、小舌ハ短小ニシテ軟毛ヲ成シ、葉鞘ハ狭長ニシテ稈ヲ包ミ無毛ナリ。夏秋ノ間、稈頂ニ單一ナル狭長綠色ノ穗狀花穂ヲ立テ、長サ15cm内外アリテ直立或ハ稍一方ニ傾ク。小穂ハ單一ニシテ花穂軸上ニ互生シ、一花ヨリ成ル。穎ハ短小。内外ノ二片略ボ同大ニシテ鏡針形ヲ成シ4-5mm長アリ。外稃ハ長サ12mm許アリテ線狀披針形ヲ成シ五乃至七脈アリ、15-25mm長ノ長芒ヲ有シ、内稃ハ線狀長橢圓形ニシテ銳頭ヲ成シ、二脊稜アリ。鱗被ハ卵形。雄蕊ハ三。子房ノ頂ニ毛アリ。和名ハ岩藪草ノ意、本品ハ明治十五年七月東京大學ノ矢田部良吉・松村任三ノ兩氏豊前國薬上・下毛兩郡界ナル犬ヶ岳ニ採集セル時之レヲ岩藪ニ見出し當時其標品ニ對シテ此名ヲ下セシモノナリ。

いね(粳・稻)
Oryza sativa L.

印度馬來ノ熱帶地方ノ原産ニシテ底遠ナル昔ニ我邦ニ入り今ハ廣ク水田或ハ圃ニ栽培セラルル一年生草本。苗ハ分蘖シテ叢生シ下ニ鬚根ヲ簇生シ、高サ50-100cm許アリ。稈ハ直立シ疎ニ葉ヲ互生シ節アリ。葉ハ鮮綠色ニシテ廣線形ヲ成シ上部漸次ニ狹窄シテ銳尖頭ヲ呈シ長サ30cm内外、幅1cm内外、剛質ニシテ表面糙澁ス、葉鞘ハ極メテ長ク外面平滑無毛、苗時ニハ其頂邊ニ一種ノ突起物アル特徴アリ、小舌ハ橢圓狀披針形ニシテ深裂ス。八九月ノ候、稈頂ニ直立セル綠色ノ圓錐花叢ヲ出ダシ開花時ニハ狹ク集リテ穂ノ如シ。小穂ハ多數アリテ中軸ヨリ分出スル細長枝上ニ短小穂ヲ以テ互生シ、一花ヨリ成ル。穎ハ内外二片アリテ極メテ小形ナリ。稃モ内外二片アリテ果時ニ所謂穀殼ヲ成シ、外稃ハ大ニシテ長サ6mm、稍壓區セル長橢圓形ニシテ深船形ヲ呈シ縦線アリテ往々粗毛ヲ被リ無芒或ハ短芒若クハ長芒アリ、内稃ハ長サ外稃ト同長、但外稃ヨリハ小ニシテ狭長、亦船形ヲ呈ス。雄蕊六箇。果穂ハ藥黃色ヲ呈シテ一方ニ傾垂シ、穎果ハ所謂米ニシテ即チ吾人ノ主要食料ナリ。又稃ハ藥ニシテ諸用ニ供ス。うるしね(粳)・もちごめ(稻 var. glutinosa 花穂通常褐紫色)ノ品アリ、然レドモ「稻」ハ兩者ヲ併稱スルコトアリ、圃ニ栽培スル者ヲモカほ(陸稻 var. terrestris Makino)ト云ヒ、矮生ニシテ花穂短小穀粒圓小ナルヲこびといね(var. pygmaea Makino)、全草暗紫色ノ者ヲむらさきいね(var. atropurpurea Makino)ト云ヒ、米赤キハたいとうまい即チたうぼし(秈)ノ一品ナリ。和名いね・いひね(飯根)ノ約言ナリト謂フ。

もちいね(稻・秈・糯)

一名 もちごめ
Oryza sativa L.
var. glutinosa Matsum.
(=O. glutinosa Lour.)

いねノ一變種ニシテ水田ニノ栽培セラルル一年生草本。稈ハ叢生、高サ1m内外、外觀ハ殆ドいねト異ナラズト雖モ、通常小穂全體ニ褐紫色ヲ帯ビ、殊ニ穎ハ小鱗狀ヲ成シ主トシテ濃紫黑色、稃亦紫黒ニ染、或ハ無芒ノ者アリ或ハ有芒ノ者アリ、芒ハ長クシテ穎稃ト同ジク紫黑色ヲ呈ス。外稃ハ壓區セラレ長橢圓形ニシテ鈍頭ヲ有シ上半外面ニ開出セル白色ノ粗毛ヲ生ズ。穎果ハ即チ所謂もちごめニシテ粘性ニ富ムヲ以テ専ラ搗テ餅ヲ製シ、又炊キテ強飯ト成ス。稈ハ效用いねト異ナルコトナシ。和名黏稻並ニ黏米ノもちハ粘ル義ナリ。

第 2618 圖



第 2619 圖

